



長産支第214号の2  
令和2年11月17日

長岡商工会議所

会 頭 丸 山 智 様

長岡市長 磯田 達伸



長岡市政に対する要望について（回答）

貴商工会議所から令和2年10月26日付けで提出のありました標記要望に対する回答  
については、別紙のとおりです。

担当：商工部産業支援課  
電話：39-2228

# 戦後最大の経済危機の克服と新たな社会環境（with コロナ）

## における地方創生に向けた要望に対する回答



### 市の基本的考え方

新型コロナウイルス感染症によって、社会経済環境は大きく変化しました。これまで長岡市では、感染拡大の防止や医療体制の強化を講じるとともに、がんばる地域企業基本条例に基づき、貴会議所とともに地域企業の事業継続を最優先に、新しい生活様式への対応や設備投資などの支援策を積極的に展開してまいりました。

引き続き、感染拡大の防止に努め、地域企業が新たな社会環境に対応できるよう、あらゆる産業のデジタル化支援や人材の育成・確保に取り組んでまいります。

### 要望対応について

#### 1. 検査体制の拡充、独自のガイドライン策定など、新型コロナ禍の中で安心して経済活動を行える体制の整備

新型ウイルスの検査体制は、県と医療機関とともに市民の命を守ることを最優先に対応しておりますので、引き続き、継続・強化してまいります。また、事業者に対しては、経済活動や事業継続の必要性に応じて、PCR検査が受けられるよう、検査機関を紹介するなどの体制を整えてまいります。

ガイドラインについては、国・県・業界団体等がそれぞれ示しているガイドラインを踏まえ、市が率先して徹底した感染防止対策を示すことで、各団体の参考となるように努めてまいります。そのうえで、貴会議所と協議を進めながら、感染状況や個別の実施内容に応じて判断できるように事業者向けの対応マニュアルやガイドラインの周知徹底を図ってまいります。

#### 2. 新たな経済社会に対応したデジタル化推進への積極的な社会インフラ投資

市内における通信インフラは、現在、ケーブルテレビ網を通じて国内最速クラスの光回線（10ギガ）を利用できる環境整備が進められております。

現在、市では、こうした通信環境を利用してNaDeC BASEでのリモートワーク体験を推進しているほか、地方移転の受け皿や新しい働き方のモデルケースとなる「サテライトオフィス」の誘致活動も積極的に進めております。

さらに、これからの社会を大きく変える第5世代移動通信システム（5G）の環境整備についても、普及が進むよう様々な関係者に働きかけているほか、NaDeC構想や、長岡高専・通信事業者との「ICT人財や起業家人財の育成による地域産業創出に向けた協定」に基づき、5GやIoT、ロボティクスなどの先端技術の活用にも取り組んでまいります。